

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／渡辺研一

〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成部
倉掛少年団第3
消防井原分団

国際感覚を養う

中2の佐能沙耶香さん



カナディアンカレッジの仲間と共に＝8月13日

倉掛16組の佐能沙耶香さん(井原中2年)が夏休みを利用して3週間、カナダのビクトリア市でホームステイを体験、様々な文化交流を通して多くの事を学び、このほど帰国した。

カナダで3週間ホームステイ



倉掛16組の佐能沙耶香さん

沙耶香さんがホームステイに関心を持ったのは今年の四月。井原市広報で、中学生海外派遣事業のホームステイ募集情報を知ってからだ。考えた末にカナ

ダ行きを選んで応募、家族も気持ち良く送り出すことに。八月一日早朝、カナダとオーストラリアでホームステイをする市内の中学生男女計六人は、関係者に見送られ井原を出発した。成田に一泊して現地時間

Q ビクトリア市の印象は？
A 「とにかく緑が多かった。可愛い野ウサギがそばへ寄って来る様所です」
Q 普段の食事は？
A 「ほとんどスレックドさんの奥様が作って下さいました。時々ですが、私も赤飯やみそ汁、手打ちの冷やしうどんなどを作ってあげました」

Q カナディアンカレッジでの勉強はどうでしたか？
A 「自由な感覚で楽しく取り組めました」
Q 文化交流を図るには？
A 「母国をよく知っておくことです」
Q 海外に行つて一番良かったことは？
A 「イラク問題とか、国際社会に少しずつ目が向くようになった」

Q&A 沙耶香さん語る

Q 学校以外には何か？
A 「色々な所へ行きました。友達と着物姿で老人ホームへ出掛け、お年寄りと一緒に折り紙をしました。ホエールウォッチングで初めて鯨を見ました」
Q 文化を交るには？
A 「母国をよく知っておくことです」
Q 海外に行つて一番良かったことは？
A 「イラク問題とか、国際社会に少しずつ目が向くようになった」



涼しかった盆踊り

井原町盆踊り大会(井原町公民館主催)が井原小学校で8月15日、住民ら多数が参加して開かれた。やや涼しかったものの、倉掛少年団育成会が担当した模擬店のかき氷は例年並みの売り上げだった。

で二日の午後四時、沙耶香さんはお世話になるビクトリア市のスレッドさん夫妻の家に到着。初めての海外生活が始まった。午前中はカナディアンカレッジで英語の研修。午後は周辺各地へ出掛け、積極的に異国の文化を学んだ。「初めは向こうの人の話す言葉が聞き取りにくかったけれど、少しずつ慣れてきました。大人になったら是非もう一度訪れてみたい」

と目を輝かせている。沙耶香さんの家族は「中学生で海外生活を体験したことが将来役立つと、これからは海外生活を送りたい」と話している。

自治会規約、一部改正

大運動会選手の出選要請

自治会総会

このたびの議題は、①井原町大運動会の選手選出等に関する件 ②自治会規約の一部改正に関する件 ③その他、の三項目だった。久々に上程された主な自治会規約改正点は「自治連合会役員定数を十五人以上とする」、「会計年度を四月一日(翌年三月三十一日とする)」、「平成十二年より実施」のふたつ。適切な文言への変更もあった。

役員定数の変更は「近年増えている自治会活動へ対応できるように」との考えによるもので、将来的な役員増に含みを持たせた。議案はすべて原案どおり承認された。

「福祉活動の推進を」

このほか、川相肇民生児童委員が「井原市は痴呆介護教室やサロンボランティア養成講座などを積極的に開いている。是非受講して知識を高めて欲しい」と、地域福祉活動の推進を呼び掛けた。

「飼育マナー守って」

ペット糞害に「憤慨」

「公共場所で犬に糞をさせて持ち帰らない」「猫に金魚を食べられた」「マナー条例をつくるべき」などの声が、全国各地で相次いでいる。ペットブームと言われる中で特に「糞害」は問題視され続けてきた。しかし、「近所付き合いも大切だから」との感情から、直接飼い主に苦言を呈さない穏健派がほとんど。ところが最近では「常識にもほどがある。この種の問題はどこへ言えば解決するのか」といった、強硬派が増加傾向にあるという。犬を飼っている倉掛の一人は「結局のところ、飼い主の意識にかかっていると。マナー最優先こそ、ペットに対する愛情の証でしょう」と話している。

